

# 2025 安全報告書



## ご利用のお客さまへ

いつもシーサイドラインをご利用いただきまして、誠にありがとうございます。  
また、日ごろから当社軌道事業にご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2024年度は、お客さまに安全・安心してご利用いただくため、安全重点施策に「オールシーサイドで挑む安全の確立」を掲げ社員一丸となり取組んでまいりました。

安全対策の主な取組みについてですが、設備面におきましては、電力の安定供給に必要な変圧器や遮断器を更新しました。また、2022年度から実施してきた車両防犯カメラのリアルタイム化が2025年2月に全編成完了し、非常時における車内状況を迅速に把握できる体制となりました。

自然災害の対応としましては、2024年8月に南海トラフ地震に関連する情報「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が運用開始以来初めて発表され、地震への警戒として対策本部を設置し情報収集に努めました。また、自然災害の備えとしましては、大地震を想定した旅客の避難誘導および対策本部の設置運営や、鉄道災害などを想定した警察署、消防署との合同訓練を実施し、相互間の連携強化を図りました。

2024年度は、南海トラフ地震臨時情報の発表中に発生した地震による安全確認のため、運休・遅延事例が1件発生しました。

ご利用のお客さまには大変ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫びするとともに、安全・安定輸送の確保に努力を重ねてまいります。

また、2019年に発生した新杉田駅鉄道人身障害事故を教訓として定めた6月1日の「シーサイドライン安全の日」においては、事故を決して風化させることのないよう、安全意識向上のための取組みを今後も継続して実施してまいります。

2025年度におきましても異常時対応力の向上を目指すとともに、安全・安定輸送の確保に向けた取組みを確実にいき、お客さまに安全・安心をご提供できる信頼される公共交通機関となるよう社員一丸となり一層の努力をしております。

本報告書をご一読いただき、当社の取組みについてご理解を深めていただければ幸いです。

株式会社横浜シーサイドライン  
代表取締役社長  
猪俣 宏幸



## 安全方針

当社では、輸送の安全を確保するための安全方針を定め、各事務所に掲示し、全社員に周知徹底しています。

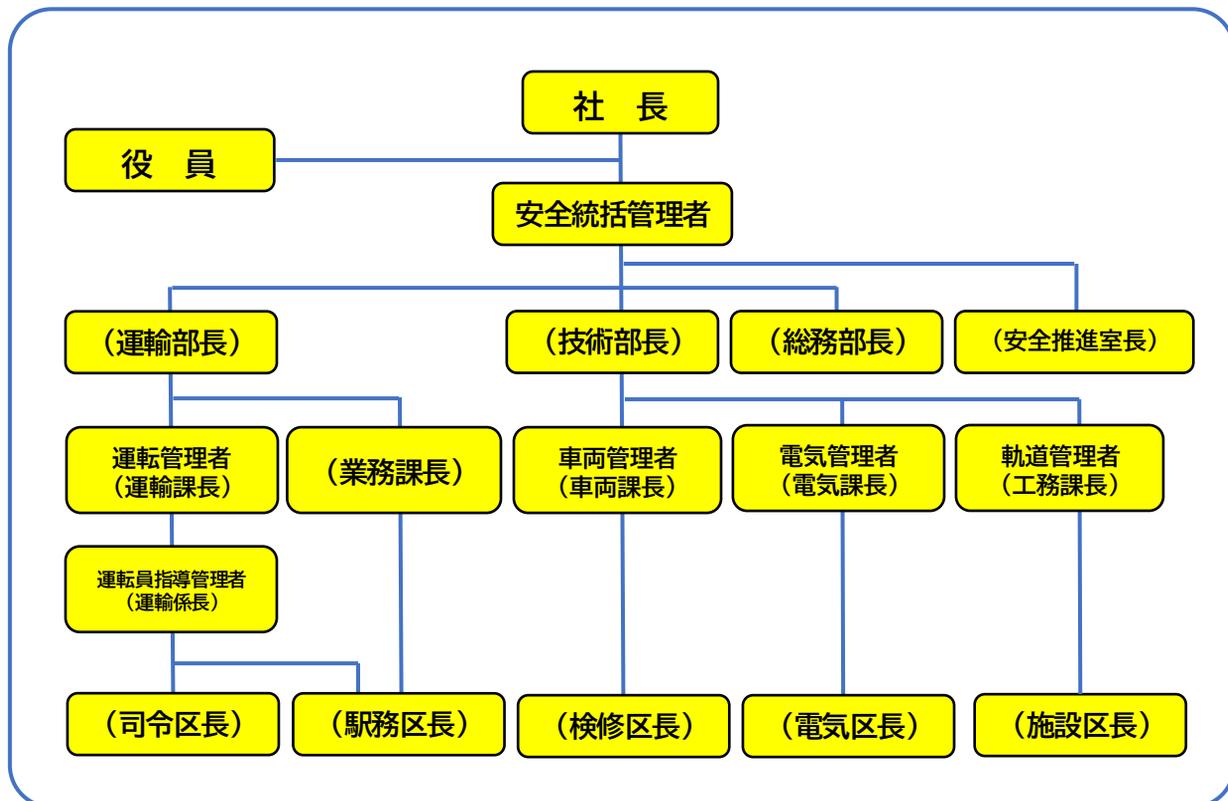
### 安全方針

- (1) 安全の確保は輸送の生命である。
- (2) 規程の遵守は安全の基礎である。
- (3) 執務の厳正は安全の要件である。
- (4) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置を取る。
- (5) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
- (6) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。

# 安全管理体制

## (1) 安全管理体制図

社長をトップとする安全管理体制を構築して責任者の責務を明確にし、それぞれが安全確保のための役割を担っています。



## (2) 責任者と責務

責任者	責務
社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
安全推進室長	安全統括管理者の業務を補佐し、安全性向上の施策を推進する。
運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
運転員指導管理者	運転管理者の指揮の下、運転員の資質の保持に関する事項を管理する。
車両管理者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
電気管理者	安全統括管理者の指揮の下、電気に関する事項を統括する。
軌道管理者	安全統括管理者の指揮の下、軌道施設に関する事項を統括する。
総務部長	輸送の安全の確保に必要な設備投資、人事、財務に関する事項を統括する。

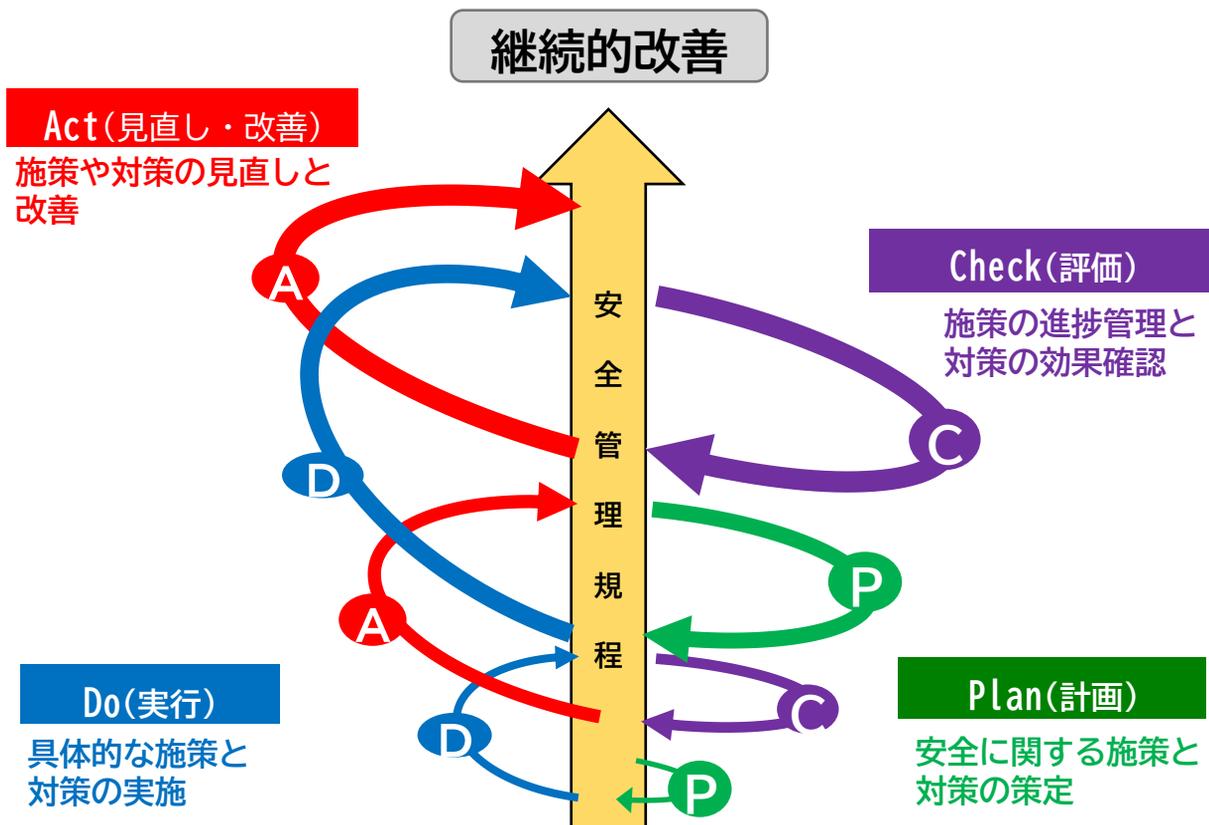
# 輸送障害・事故等について

2024年度の発生状況は次のとおりです。

- ◆ 鉄道運転事故 0件  
※衝突、脱線、火災、人身障害、物損にかかる事故
- ◆ 輸送障害 1件  
※列車の運休、または30分以上の遅延が発生したものと  
ご利用のお客さまには、大変ご迷惑をおかけいたしました。  
・神奈川県西部を震源とする地震  
2024年8月9日(金) 19時57分 最大遅延 56分  
運転見合わせ 約30分
- ◆ インシデント 0件  
※鉄道運転事故が発生するおそれがあると認められるもの

## 輸送の安全を向上・改善するしくみ

輸送の安全をより向上させるため、計画（Plan）→実行（Do）→評価（Check）→改善（Act）のサイクルにより安全管理体制を維持し、見直しを図り、継続的改善に向け取り組んでいます。



# Plan (計画)

◆ 2024年度 安全重点施策  
オールシーサイドで挑む安全の確立

◆ 安全目標

- (1) 鉄道事故 有責事故 0件
- (2) インシデント 0件の継続
- (3) 軌道係員に起因する輸送障害件数 前年度(2件)発生件数以下

◆ 取組計画

- (1) 懐疑心を保持した考動
- (2) 教育・訓練の充実
- (3) 情報の発信と確実な共有

## Do (実行)

### 1 安全確保への取組み

(1) 安全に係わる会議等

安全管理体制を効果的に機能させるため、社長、安全統括管理者が主体となり、様々な会議において安全に係る情報の共有を図り、「事故の芽」を事前に摘みとる取組みを行っています。また、定期的に現場を巡視し、取組状況を確認するとともに意見交換を行い、社員の安全意識の高揚を図っています。



(2) 「シーサイドライン 安全の日」の取組み

当社は、2019年に発生した、新杉田駅鉄道人身障害事故を教訓に、毎年6月1日を「シーサイドライン安全の日」と定め、事故の風化防止を目的に、全社員を対象に研修を行い安全意識の高揚を図っています。



## 2 安全に係る情報の収集・活用

### (1) ヒヤリ・ハット情報

事故に直結してもおかしくない一歩手前の情報を収集し、事故の未然防止に取り組んでいます。ヒヤリ・ハット情報は各職場に設置されたヒヤリ・ハットボックスなどにより収集しています。

### (2) 提案制度

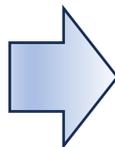
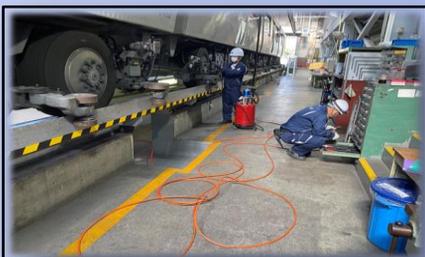
業務上の問題点や解決方法・改善策などを提案する制度で、お客さまサービスや、安全性の向上、業務の効率化などを目的として取り組みを行っています。

事例：検修場12番線設備用空気配管の増設（作業環境の改善）

検修場12番線において整備等の作業を行う際に使用する圧縮空気は、供給口がピット線外側にしか設置されておらず、ピット線内側で圧縮空気を使用する際はピット線外側から長いホース（約25m）を使用している状況でした。この際、ピット線内外で使用しているホースが絡まったり、移動しながらの作業においてホースが通行の妨げとなるなど、躓きや転倒災害のリスクが懸念されておりました。

そこで、ピット線内側に圧縮空気の配管を直営工事で約40m新設し、直接供給出来るように改善を行い、ホース取り回しによるリスクの軽減を図りました。あわせて、ピット線外側の圧縮空気の供給についても、自動巻き取り機能の付いたホースリールとし、通路上にホースが散乱しないように改善しました。

【改善前】



【改善後】



### (3) お客様からのご意見、ご要望

有益な情報のひとつとして活用し対策を行っています。ご意見、ご要望はホームページのほか、有人駅に設置した「お客様アイデアボックス」によりお寄せいただいています。

いただいた情報は社長以下全社員に周知し、情報共有を図っています。



## 3 社員教育

### (1) 運輸事業の安全に関するシンポジウム

運輸事業者の安全に対する優れた取組みなどを紹介する国土交通省主催によるシンポジウムで、安全意識の高揚を図ることを目的に毎年参加しています。



### (2) 安全推進研修

安全意識の向上と安全に対する理解を深めることを目的に毎年全社員を対象に3日間実施しています。

2024年度は、同業他社の安全専門講師を招聘し、「気づきの感性」について理解を深める研修を実施しました。



### (3) 運転員の養成

当社は無人による自動運転を行っていますが、災害や異常時などにおいても継続的に安全な運行を確保するため運転員を養成しています。2024年度は3名の運転員を養成しました。(迅速な対応ができるよう駅に運転員を配置しています。)



## 4 各種訓練・教習の実施

- (1) 鉄道災害などを想定した合同訓練  
鉄道災害などが発生したことを想定し、  
新杉田駅にて警察、消防、近隣施設企業  
との協力・連携体制の確認を行いました。



- (2) 警察署指導による護身術訓練  
駅係員の身を守るため、警察署指導による  
護身術訓練を実施しました。



- (3) 消防署指導による救命救急訓練  
お客さまの命に危険があった場合を想定し、  
心臓マッサージやAEDの使用方法  
について指導を受けました。



- (4) 転てつ器（ポイント）取扱い訓練  
故障により、自動で転てつ器（ポイント）が切り替わらなくなった場合に速やかに運行再開できるように、手動により切り替える訓練を実施しました。



- (5) 東日本大震災を教訓にした訓練  
大地震が発生したことを想定し、避難経路を確認する避難訓練を実施しました。



- (6) 軌道事故復旧訓練  
東日本大震災を教訓にした訓練と合わせて、対策本部の設置運営ならびに車いす旅客の避難誘導を想定した対応および各設備点検を実施しました。



## 5 自然災害対応の取組み

2024年8月に、南海トラフ地震に関連する情報が運用開始以来初めて発表されました。当社の規程に従い、当事象に対し初めて対応し対策本部を設置しました。

南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)に伴う対応について

状況：2024年8月8日(木)の16時43分、日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生しました。同日17時00分、気象庁より「南海トラフ地震臨時情報(調査中)」が発表され、19時15分「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」が発表されました。

対応：「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」発表を受け、同日中に社長および安全統括管理者において連絡体制と今後の対応方について確認を行い、翌9日の朝に打合せを実施することとなりました。

9日(金)の8時40分、対策本部を設置し、その中で、情報収集と以下の内容についての確認を警戒本部に切り替え実施することを決定しました。

- ・震度5強の地震を想定し、対応方の再確認
- ・津波対応として、浸水防止シートの設置について
- ・並木北駅付近で停止した列車の旅客避難対応
- ・広報(HP等への案内)
- ・花火大会の対応
- ・国や横浜市、同業他社の情報収集



電気室入口に浸水防水シート設置状況

同日9時30分、対策本部から警戒本部に切り替え、以下の内容を決定しました。

- ・大地震発生時の対応方を各部署にて再確認
- ・鳥浜、海の公園南口電気室の搬入扉に浸水防水シートを設置
- ・並木北駅付近で停止した列車の旅客避難対応再確認
- ・ホームページ、駅案内表示器、デジタルサイネージに地震臨時情報発表に伴う運休や遅れが発生する可能性についての注意を掲載
- ・国、横浜市、鉄道他社局などの対応状況を確認

9日(金)～14日(水)にかけ、気象庁の地震関連解説情報および国、横浜市、鉄道他社局などの対応状況に関係者へ情報提供しました。15日(木)の17時00分、「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」の呼びかけが終了となり、同日17時20分、警戒本部を解散しました。

## 6 安全への投資

安全・安定運行確保のため、日常の修繕をはじめ、様々な設備の更新を行っています。2024年度は設備投資に約4.1億円、修繕に約4.3億円を充てており、その一部をご紹介します。

### (1) 車両防犯カメラの更新

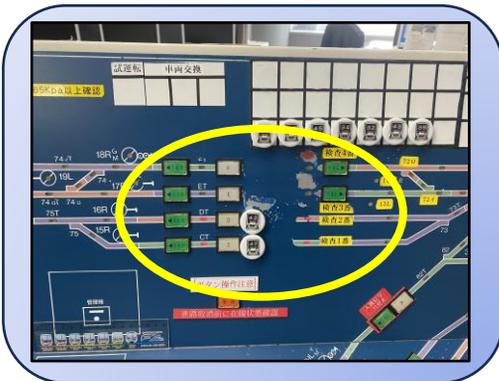
防犯カメラの安定稼働維持と併せ、全編成で遠隔によるリアルタイム映像の確認を可能とするシステムに更新しました。これに伴い非常時における車内状況を迅速に把握し、適切に対応できる体制としました。



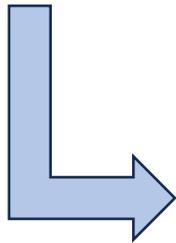
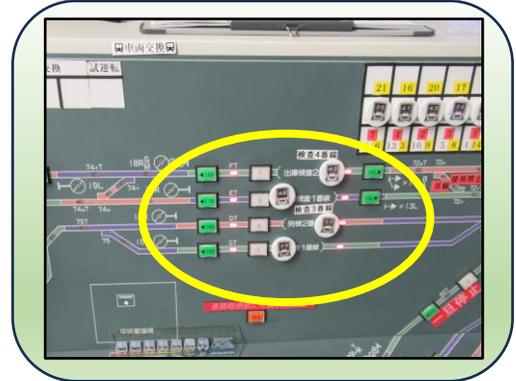
### (2) 連動制御盤（車両基地）の更新

車両基地で車両を入換える際に進路を設定する操作盤で、進路を設定する際のヒューマンエラー防止を図るため、車両在線状態の視認性向上を行いました。

【更新前】



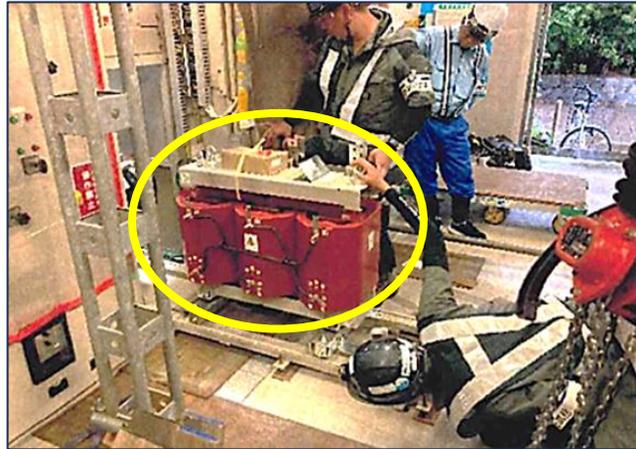
【更新後】



### (3) 乾式変圧器の更新

駅舎内の設備へ電気を供給する機器になります。

装置の安定稼働を確保するため、2024年度は市大医学部駅、八景島駅、海の公園南口駅、野島公園駅の各き電室で更新を行いました。



### (4) 交流真空遮断器の更新

各変電所の機器を保護するため異常電流を遮断する機器になります。

装置の安定稼働を確保するため、2024年度は幸浦受電変電所、新杉田き電変電所で更新を行いました。



## (5) 駅インターホン設備の更新

無人駅（券売機・改札口など）からお客さまの問い合わせに駅務員が対応できる機器で、更新前の接客画面よりも見やすいよう大画面とし、異常時などの確実な通報を確保するとともに、筆談での対応ができるよう、コミュニケーションボードを新たに設置しました。

【更新前】



【更新後】



## Check（評価）

### ◆ 内部監査の実施

安全管理体制が適切に確立され、関係法令や規程と適合しているか、また実施体制、手順などが確立され有効に機能しているかを確認するため毎年実施しています。



## Act（見直し・改善）

### ◆ マネジメントレビューの実施

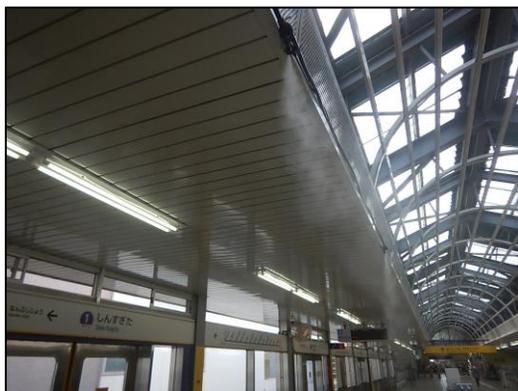
経営トップ（社長）が安全管理体制全般について1年を振り返り、課題を網羅し、次年度の安全重点施策や、取り組みなどに反映させています。



# サービス向上への取組み

## (1) 極微細型ミスト装置の試験導入

近年の猛暑対策として、お客さまが快適に駅をご利用いただけるよう新杉田駅ホームへ試験的に7月から9月まで導入しました。



## (2) 駅ホームに指向性スピーカーの設置

新杉田駅と金沢八景駅は他の駅と比べると空間が広いため、改札口付近のお客さまへ案内放送が聞こえやすいように指向性スピーカーを設置しました。



新杉田駅ホーム



金沢八景駅ホーム

## (3) 車内案内表示装置の4カ国語対応

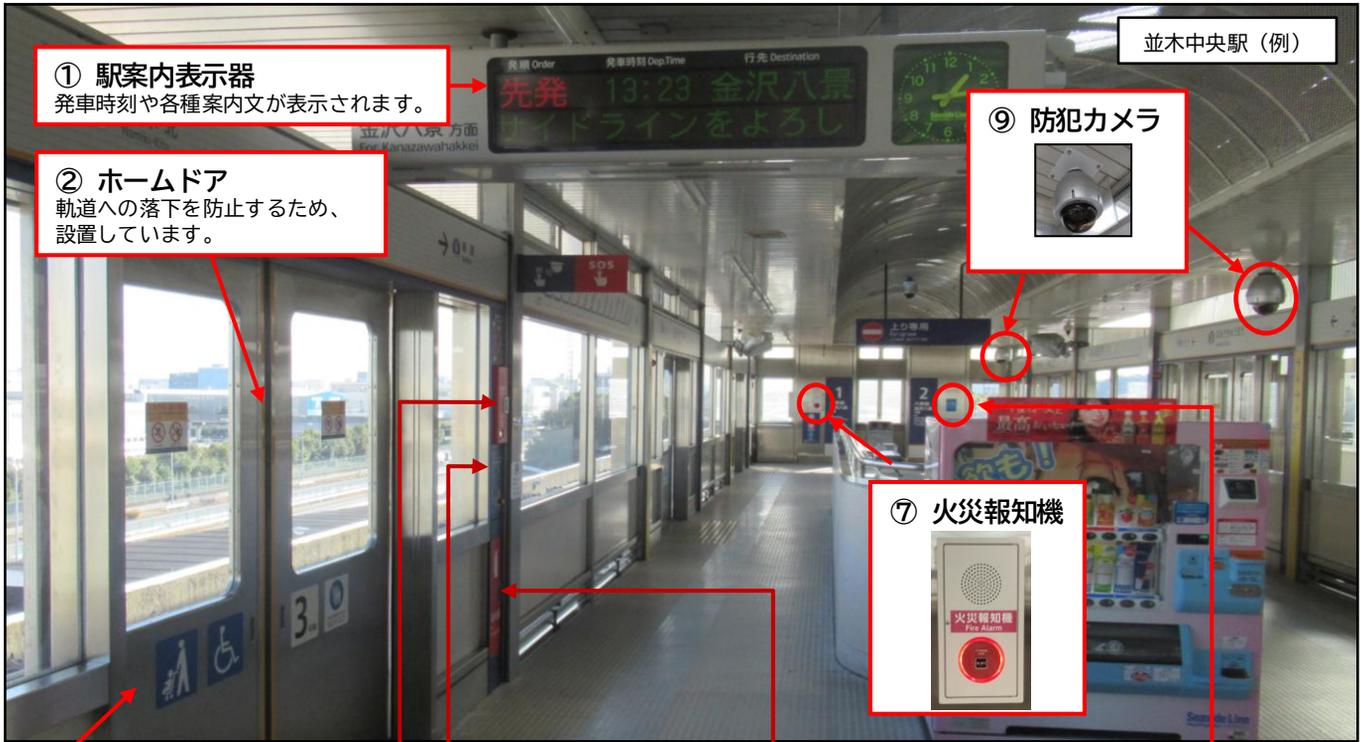
インバウンド対策として、車内案内表示を4カ国語（日本語・英語・中国語・韓国語）の案内ができる装置へ順次交換し、2027年度末で運用している編成が完了する予定です。



# お客さまの安全を支える設備

## 1 駅の安全設備

### (1) ホーム



並木中央駅 (例)

① 駅案内表示器  
発車時刻や各種案内文が表示されます。

② ホームドア  
軌道への落下を防止するため、  
設置しています。

⑨ 防犯カメラ



⑦ 火災報知機



③ 車椅子・ベビーカー  
スペース乗車位置  
1, 3, 5号車のホームドア  
に表示してあります。

⑤ インターホン  
よびだしボタンを押すと  
駅係員と通話ができます。



⑥ 消火器  
ホームに2か所設置されています。



⑧ 海拔表示  
津波からお客さまを  
守るため、横浜市との  
協定により海拔5  
m以上のコンコース、  
ホームが一時避難施  
設になっています。



④ 非常停止ボタン

緊急時、カバーを  
上に持ち上げ、中  
のボタンを押すと、  
列車が止まります。  
装置の上には、写  
真付きで使用方法  
を表示しています。

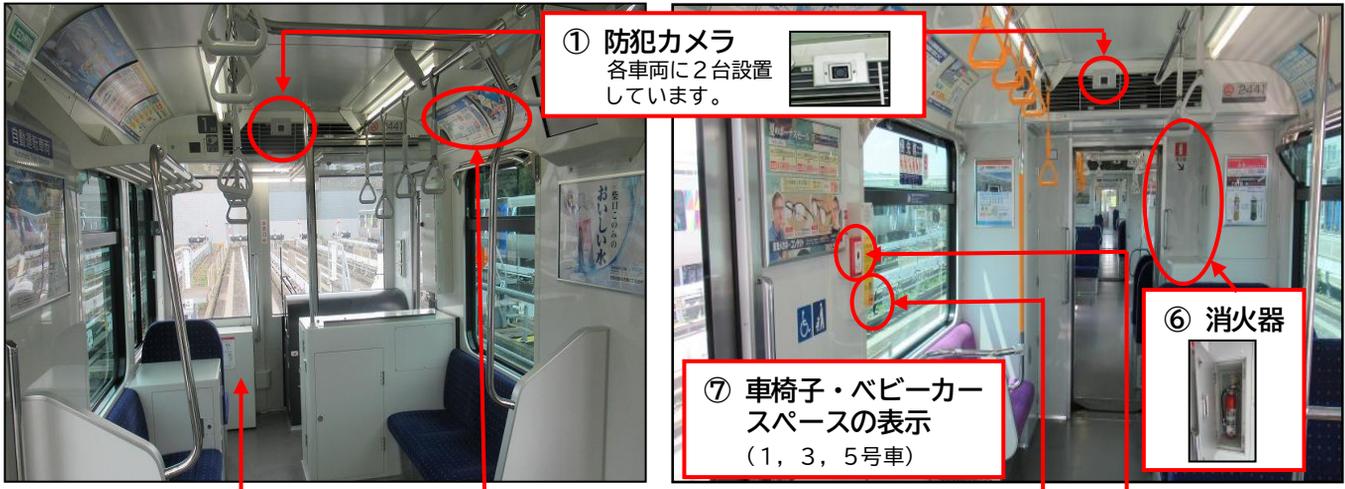


## (2) 改札・コンコース・券売機・自由通路



## 2 車両の安全設備

### (1) 車内



① 防犯カメラ  
各車両に2台設置  
しています。



⑥ 消火器



⑦ 車椅子・ベビーカー  
スペースの表示  
(1, 3, 5号車)

#### ② 非常口

赤いカバーを開けるとブザーがなり列車  
が停止します。非常口階段は白いカバー  
の中に設置されています。



#### ③ 非常設備案内

インターホン、消火器の設置位置  
を2か国語で案内しています。



#### ④ 非常用インターホ

各車両に  
1台設置し  
ています。  
カバーを  
あけ、ボタ  
ンを押すと  
係員と通話  
ができます。



#### ⑤ 非常停止ボタ

各車両に  
1台設置  
していま  
す。  
赤いボタ  
ンを押す  
と列車が  
停止しま  
す。



### (2) 車外

#### ① 接触検知装置

先頭車両に設置され、  
障害物が当たると、  
非常ブレーキにより  
停止します。



#### ② 走行タイヤ

万ーパンクした場合にも  
安全に走行ができるよう  
に、金属製の車輪が入っ  
ています。



### 3 軌道等の安全設備

(1) 緊急地震速報受信装置

地震発生直後、震源近くで地震を感知し、強い揺れが発生する前に列車を自動で停止させる装置です。



(2) 地震計

検知装置により実際の震度を司令区に表示します。



(3) 風速計

軌道上の2か所（並木中央、八景島）に設置しています。風速は司令区に表示され、風速に応じて列車運行の可否を判断します。



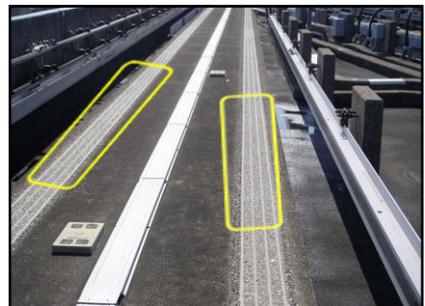
(4) タイヤパンク検知装置

並木中央駅の軌道上に敷設し、列車通過時にタイヤがパンクしていないかを検知しています。異常があった場合は、司令区に警報と異常個所が表示されます。



(5) ロードヒーター

降雪による凍結防止のため、軌道上のタイヤが走行する路面を温める装置です。



(6) 防雷装置

列車運行に係る重要設備を落雷から守るための装置で、本社屋上に設置しています。



# お客さまへのお願い



## 駆け込み乗車はおやめください

駆け込み乗車は、列車の遅れの原因ともなり大変危険ですとおやめください。



## 優先席について

各車両に「優先席」を設けております。乳幼児をお連れの方、妊娠している方、お年寄りの方、お身体のご不自由な方、内部障がいのある方には席をお譲りください。



## 携帯電話のご使用について

各車両に「優先席」を設けております。「優先席付近」では、混雑時には携帯電話の電源をお切りいただき、その他の場所では、マナーモードに設定のうえ通話をご遠慮ください。



## 車内マナーにご協力を

- ・ドア付近は乗り降りのお客さまのため、広くお開けください。
- ・ヘッドホンの音漏れにご注意ください。
- ・混み合った車内では、お荷物により周りのお客さまのご迷惑となりませんように、前に抱えたり、網棚にのせるなど、ご配慮ください。



## ベビーカーのご利用について

- ・左記のベビーカーマークは安心してご利用いただける場所や設備（エレベーターや車両スペース）を表しています。
- ・ベビーカーは、折りたたまずにご乗車いただけます。
- ・エスカレーターや階段はベビーカーからお子さまを降ろしてご利用ください。
- ・周囲の方との接触や通行の妨げなど、ベビーカーの操作にはお気を付けください。
- ・止めている間は、ストッパーをかけ、手も添えてください。
- ・お困りの際は、駅係員へお申し出ください。



## マタニティマーク

このマークを見かけたら、座席をお譲りください。

※マタニティマークをご希望の方は、新杉田駅・並木中央駅・金沢八景駅の窓口にお申し出ください。



## ヘルプマーク

このマークを見かけたら、座席をお譲りください。

ヘルプマークは障害や疾患があることが外見からは分からない方が支援や配慮を必要としていることを知らせるマークです。

※当社ではヘルプマークの配布は行っておりません。配布につきましては、ご自宅のある自治体にお問い合わせください。



## 不審物について

不審物を発見したときは、手を触れずに駅係員かお近くのインターホンにてお知らせください。



## 終日禁煙

終日禁煙です。タバコはご遠慮ください。  
(電気加熱式タバコ、電子タバコ含む)

# Seaside Line

シーサイドライン

- 本報告書は、軌道法第26条において準用する鉄道事業法第19条の4の規定に基づき事業年度ごとに報告するものです。  
対象期間 2024年4月～2025年3月
- 本報告書に関するご意見につきましては、以下のお問い合わせ先までお寄せください。

安全推進室 安全推進課 045-787-7056 ( 平日 9:00～17:00 )

ホームページ <https://www.seasideline.co.jp>

※トップページ右上「各種お問い合わせ」から「よくあるご質問・お問い合わせ」の「お問い合わせページ」送信フォームより、ご意見をお寄せください。

 株式会社 横浜シーサイドライン

〒236-0003 横浜市金沢区幸浦二丁目1番地1

2025年7月発行